

## (仮称)市民参画条例策定委員会グループ会議 火曜G (概要)

日 時：平成18年9月5日(火)

午後7時～9時

場 所：市役所東館7階 701会議室

### 参加者

火曜日グループ5名(米田、古川、小田、佐々木、藤谷)

アドバイザー1名(角松)

職員2名(武林、和田)

### グループ会議

#### 運営委員会について

##### 運営委員について

- ・グループで出た意見を運営委員会に持っていくメッセンジャー的な役割
- ・運営委員がグループの意見を主張しすぎると、運営委員会自体がまとまらなくなる

##### 運営委員会の役割について

- ・運営委員会で条例を策定するための叩き台、もしくはそれに寄与するものを作成する。
- ・各グループで出された意見を基に運営委員8名で議論してそれをグループに返す。
- ・策定委員会全体の運営
- ・運営委員会だけで最終決定はすべきではない
- ・各グループの意見を交換して、ひとつにまとまらなくても方向性を見出す

#### 運営委員会での議題について

- ・委員にKJ法などを使って西宮市の問題点を列挙してもらう

#### その他

##### 全体会議について

- ・全体会議は2ヶ月に1回でいい
- ・軌道にのるまでは(全体会議を)月1回開催していくべきである

##### グループについて

- ・定例会に向けてグループで議論していく
  - ・全体会・グループ・運営委員会と3つをどう組み合わせるのか
- ##### 条例づくりについて
- ・問題点を洗い出し、検討しそれを改善する手段を探ることにより具体化していくのでは
  - ・やることを決めてそれに条例の項目に当てはめていく
  - ・西宮市の現状をみんなの共通認識とする
  - ・市民の意見を吸い上げることの出来る条例づくり
  - ・市の役割・市民の役割・事業者の役割など分ける必要がある
  - ・市民から自分たちで出来ることを市に提案できるようにすればいい
  - ・市民参画というのは市民からいろいろと提案していくもの

#### その他

- ・西宮市がどういった道を進んでいくのかを行政と市民が一緒になり探る窓口となるべき
- ・協働とは協力して実施するのであり自分の意見を通すことではない
- ・グループは今後もう一度、見直すべき
- ・委員が西宮市の問題点をアンケートにして提出する
- ・市長がリーダーシップを発揮しないと何もできない
- ・条例づくりと同時に現実味を帯びた仕組みづくりも必要
- ・市民から問題点を上げるだけでなく市からも問題点の投げかけがあってもいい
- ・議会との関係が不安
- ・理想を話しても現実はお金のかからないことしか出来ない
- ・少ない費用で大きい効果が得られるようにする
- ・我々も市のことをよく知らない、市も我々のことをよく知らないのが現状
- ・市民参画のシステムづくりが我々の役目

#### 自己紹介シートについて

- ・グループごとにつくりまとめて自由閲覧にする
- ・何もわからずに話をするのもいいのではないか
- ・書ける範囲で書けばいい
- ・個人情報なでの関係で全てを公開すべきか疑問

#### 報告事項

##### 運営委員について

佐々木さん、米田さんを運営委員とする。但し代役として古川さんをサブとする。

##### 自己紹介シートについて

書ける範囲で書く。全員に配らず自由閲覧とする。

##### 運営委員会での議題について

委員に KJ 法などを使って西宮市の問題点を列挙してもらおう（聞き方を工夫して）